

Dr.Kの漢方薬講座

よく使われる漢方薬のご紹介

大黄甘草湯(ダイオウカンソウトウ)、潤腸湯(ジュンショウトウ)、麻子仁丸(マシニンガン)：便秘

華陽診療所医師 粕谷 志郎



便秘に使われるこれらの処方には、大黄が入っています。大黄はタデ科の木で根茎が使われます。主成分がセンノシドです。センノシドと言えば、その名の通りの便秘薬があります。センナ(マメ科)の主成分でもあります。しかし、センナは漢方薬ではありません。ピラミッド文化で有名なエジプトヌビア地方原産の植物です。アラビア医学で使用されてきました。こちらは3,500年も前に書かれたエーベルス・パピルスに記載されたものです。一方、大黄甘草湯は金匱要略に記載されていますから、1,800年以上前になります。洋の東西を問わず、古今をとわず、同じ成分が便秘の治療に使われていたわけです。しかも大黄とセンナは似ても似つかぬ植物です。人類の知恵(遺産)は偉大だと感じます。大黄のセンノシドの含有量は0.25%以上ですから、大黄4gで10mg以上となり、センノシド12mg1錠とほぼ同程度となります。センノシドは腸内細菌で分解され、有効な成分に変わります。抗生剤で腸内細菌がダメージを受けると、効きが悪くなる場合があります。瀉下作用という直球勝負では、大黄は有効成分そのものにあたるセンノシドに勝るものではありません。しか

し、漢方には変化球があります。有効成分を単離する西洋医学に対し、異なった効き目の生薬を重ねて、システム化するのが漢方です。

大黄にはタンニンという成分も含まれ、こちらは下痢を止める、便秘薬とは逆の効果があります。下剤の効果がマイルドになります。大黄甘草湯は二味の方剤で、相方の甘草は大黄による大腸の痙攣を緩和する一方、腸管の水分を保持して下剤の効果を助けます。麻子仁丸は高齢者の固い便で大腸が緩んだ便秘に使われます。この処方での大黄の地位は高くありません。君薬(中心となる生薬)は麻子仁で、腸を潤し、便を軟らかくする作用があります。臣薬(共に働く生薬)は杏仁で、杏仁豆腐(アンインドウフ)で知られ、鎮咳、整腸作用があります。一方、潤腸湯は固い便ですが、腸が引き締まった若い方に使われます。

食前か空腹時に1回1包、一日3回服用します。2-3日内に効果が出ます。瀉下作用だけの便秘薬とはひと味違います。

廃プラスチックの問題

ちょっと怖い食と農のはなし

私たちの日常生活のなかで、大量に便利に使われているプラスチックですが、いまこれが環境汚染の問題を引き起こしています。大量に海洋をただようプラスチックのゴミ、海岸一面に打ち上げられたり、処理が追いつきません。死んだ海ガメの内臓から大量のビニール袋などが見つかることもあります。そもそも、すべてのプラスチックは石油から合成されたもので、環境に放出されると、太陽の光により劣化し、分解され、今問題になっているマイクロプラスチックが生み出されます。このマイクロプラスチックは化粧品などにも使われており、また化粧を洗濯することでも発生しているといわれます。やがて環境に放出されたマイクロプラスチックは、食物連鎖により、他の化学物質とお

なじように高濃度に蓄積されていくことが考えられます。東京湾でとれた鰯の90%にマイクロプラスチックが検出されているという報告もあります。それがどういう悪さをするか、病気を引き起こすのか、まだその毒性についてはまだ、あまり研究されてはいないようです。

便利にならされてきた私たちの生活のなかで、脱プラスチックはかなり難しいとおもわれますが、ペットボトルの利用を減らす工夫や、使い捨て容器を使わないくらしの工夫を考えていきたいと思

います。(岐阜農民連 熊崎)



知って得する「介護保険制度」コーナー

一人で死ぬ ～回想(私がケアマネージャーだった頃)～

介護事業部 介護事業部長 岩原 田鶴子

ずいぶん前のことです。朝鮮から日本に渡ってきたその老人は、流暢な日本語とは言えませんが、怒りを私にぶつけてきました。「日本人はみんなウソつきです。私の友達は、人体実験で死にました。」

みどり病院から介護保険の申請の援助を行うように、依頼がありました。その人と話をすると、何度もこのことを訴えられます。(ああ、そうか、731部隊の話だな)と思いました。先の戦争中に日本が朝鮮人や捕虜を人体実験したことです。その怒りは、測りようもなく、私一人でどうこうできることでもなく、ただどうすればいいのか。一日本人として謝罪するのみ。「申し訳なかったですね。」日本代表で謝罪した気分と感じました。本人の怒りはエスカレートし、「みどり病院でもらった薬も、毒が入っていて、余計に調子が悪くなった。殺す気か」どうやら、心不全に対し、利尿剤が出たようで、夜中に何度もトイレに行

かなければならなかったことを怒っている様子。私は、意地悪心が湧いてきて「私も日本人なので、だますかもしれませんよ」思いがけない返答が返ってきた。「岩原さんになら、だまされてもいいですよ。」二人で大笑いをした。

その人は、息子と絶縁していると言ったので、とにかく体調を崩したことを連絡するように話しました。

しばらくして事務所に本人から、「岩原さん、お世話になりました。」と電話がありました。数日後、孤独死で発見されましたが、息子さんが最後まできちんと始末をされたとのこと



みどり病院 ☎058-241-0681 (医療福祉相談員まで)

地域の方と看護奨学生の交流会

9月15日(土)北山・東山支部の方3名と、看護奨学生8名、看護師3名で交流会をしました。

看護奨学生は、毎年強化月間の期間に民医連を学び、共同組織の方との交流を持つことにより、地域の方がどのような活動しているのか、どのような役割で事業所と関わっているのかを直接聞きます。

今年の交流会は、3グループに分かれ各グループに地域の方と看護師が入り、みどり病院の歴史や、現在の地域の現状、普段地域では何をされているかのお話がありました。

短い時間でしたが、学生にとっては地域を知る良い機会になりました。(看護学生対策担当者)

